

# 第14回 まちづくりメイヤーズフォーラム

## コンパクトシティとまちのリ・デザイン

### ～ 人口減少時代の挑戦 ～

日時 2026年10月28日(水) 14:00-17:00 (13:20開場)

会場 札幌ビューホテル大通公園 地下2階ピアリッジホール (札幌市中央区大通西8丁目)

定員 200名(会場) / オンライン併用 <事前申込制>

参加無料

#### 基調講演

### 夕張に住み続けられるための集中型コンパクトシティ

北海道大学 理事・副学長 瀬戸口 剛 氏



#### 特別講演

### 偶発性をデザインする

～ 予期せぬ変化を、地域を動かす推進力に変える思考法 ～

神山まると高専 発起人/アドバイザー・認定NPO法人グリーンバレー 元理事長 大南 信也 氏



#### 事例紹介

財政再生の先に描く  
持続可能なまちづくり  
～集約型コンパクトシティで創る  
夕張の未来～



夕張市長 厚谷 司 氏

まちなか再生・  
活性化プロジェクト  
「名寄まちなか未来宣言」



名寄市長 加藤 剛士 氏

#### パネルディスカッション

##### ▼コーディネーター

北海道大学 理事・副学長  
瀬戸口 剛 氏

##### ▼パネリスト

神山まると高専 発起人/アドバイザー・  
認定NPO法人グリーンバレー 元理事長  
夕張市長  
名寄市長  
一般社団法人清水沢プロジェクト 代表理事

大南 信也 氏  
厚谷 司 氏  
加藤 剛士 氏  
佐藤 真奈美 氏



佐藤 真奈美 氏

※パネルディスカッションより参加

【申し込み】二次元コード又はURLからお申込みください。

<https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2026/>

【問い合わせ先】

株式会社コンベンションリンケージ 電話:011-272-2151

主催:北海道、一般財団法人北海道建設技術センター

後援:国土交通省北海道開発局、(地独)北海道立総合研究機構、北海道市長会、北海道町村会、(公社)日本都市計画学会北海道支部



申込締切:10/20(火)

北海道建築士会認定CPDプログラム

土木学会認定CPDプログラム

## フォーラムの目的

北海道では、人口減少・少子高齢化や広域分散型の都市構造などの課題を踏まえ、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の実現に向け様々な取組を行っており、その一つである当フォーラムは今年で14回目を迎えます。

今年度は、「コンパクトシティとまちのリ・デザイン～人口減少時代の挑戦～」をテーマに、人口減少時代においても持続可能な地域を築くための先進事例や取組を共有し、それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりのあり方について考えます。

## プログラム

14:00 開会挨拶

14:05 基調講演

「夕張に住み続けられるための集中型コンパクトシティ」

14:30 特別講演

「偶発性をデザインする

～予期せぬ変化を、地域を動かす推進力に変える思考法～」

15:05 事例紹介

「夕張市の取組」

「名寄市の取組」

15:45 休憩

15:55 パネルディスカッション

16:55 閉会挨拶

## 問い合わせ先

### ◆開催内容について

北海道建設部建設政策局建設政策課

TEL: 011-206-8167

### ◆申し込みや参加方法について

株式会社コンベンションリンケージ

TEL: 011-272-2151

メール: hokkaido-seminar@c-linkage.co.jp

※申し込み方法は表面をご参照ください。

## CPD申請

### ◆土木学会CPD単位登録申請

受講後、フォーラムで得られた所見(学びや気づき)を100文字以上でまとめ、主催者へ提出してください。  
[2.7単位取得]

### ◆北海道建築士会CPD単位登録申請

当日、会場で建築士会CPD番号(または建築士番号等)を確認させていただきます。[3.0単位取得]

※他団体に提出する場合の方法については、各提出先の団体に事前にご確認ください。

## 登壇者のご紹介

### 瀬戸口 剛 氏 (北海道大学 理事・副学長)

早稲田大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。北海道大学工学研究院教授を経て平成31/令和元年度より工学研究院長、工学院院长、工学部長を歴任し、令和6年度より現職。平成26年に日本建築学会賞、平成27年に文部科学大臣表彰科学技術賞、平成28年に国土交通大臣表彰国土技術開発賞を受賞。専門は都市・地域計画。「北の住まいるタウン」検討協議会の委員も務めている。

### 大南 信也 氏 (神山まると高専 発起人/アドバイザー・認定NPO法人グリーンバレー 元理事長)

徳島県神山町出身。米国スタンフォード大学院修了。1990年代初頭から過疎化が進む故郷の活性化に取り組み、平成16年にNPO法人グリーンバレー(初代理事長)を創設。空き家を活用したIT企業のサテライトオフィス誘致や移住支援を先導し、国内外から多様な人材を引き付ける。また、発起人として神山まると高専の設立に参画するなど、教育や地域経営の視点から持続可能な地域社会の未来を切り拓いている。

### 厚谷 司 氏 (夕張市長)

夕張市は、着実な財政再建とともに、人口減少下でも市民が安心して暮らし続けられる持続可能なまちを目指し、集約型コンパクトシティを軸とした都市構造の転換を進めている。公共施設の再編や都市機能の集約・誘導、市庁舎移転などを一体的に進め、都市基盤の再構築を図るとともに、居住環境の充実や持続可能な都市経営に取り組み、将来にわたって幸福感あふれるまちの実現を目指している。

### 加藤 剛士 氏 (名寄市長)

名寄市は、令和8年5月に「名寄まちなか未来宣言」を公表。人口減少や商店街の店舗数減少などにより活力が低下しているまちなかの再生について、周辺のインフラや多様な市民活動などの地域資源を活かし、まちなかにサードプレイスとなる活動拠点づくりなど、地域への愛着の醸成と若者の定住促進に取り組む。また、現在策定中の第3次総合計画に「まちなか再生・活性化プロジェクト」を掲げ、持続可能なまちづくりを目指している。

### 佐藤 真奈美 氏 (一般社団法人清水沢プロジェクト 代表理事)

平成21年に修士論文として夕張市清水沢地区の10年計画の地域構想「清水沢エコミュージアム」を提唱、NPOなどで炭鉱遺産を活用したまちづくりに携わりつつ実践する。平成28年一般社団法人設立。地域固有の歴史や文化を糧に、現在と未来の市民、それに関わる人々が誇りを持てる地域を目指す。清水沢地区の2つの町内会の顧問でもある。

## MAP

